

【研究概要】

口腔外科疾患にて顎骨切除後の呼吸状態の変化が問題になることがある。顎骨切除により接骨上筋群の牽引が減弱し、舌根沈下を起こすことにより、呼吸苦や無呼吸を呈することがある。今回我々は、顎骨切除後の睡眠の変化について検討する。口腔外科疾患患者を対象として、睡眠時無呼吸の発現状況を評価する。主要評価項目は、睡眠時無呼吸低呼吸指数（AHI）とする。また、副次評価項目は酸素飽和度低下指数（ODI）、及び、いびき音、ESSとする。